



統計法に基づく
一般統計調査



第 25 回 21 世紀出生児縦断調査 (成年者の生活に関する継続調査) 【平成 13 年出生児】 (令和 8 年 (2026 年) 11 月 4 日調査)

この調査票は、ご本人 (平成 13 年生まれの方) がお答えください。

調査票は、令和 8 年 (2026 年) 11 月 4 日現在の状況で記入してください。

これは統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。
お答えいただいた内容については、統計の作成以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いします。

■ オンラインで回答する場合

- 二次元コードまたは URL (<https://www.e-survey.go.jp/>) から回答画面にアクセスしてください。画面に従い、ログイン ID とパスワードを入力し回答を開始してください。
- 回答方法等は同封の「オンライン回答の手引」を参照してください。
- オンラインで回答された方は、紙の調査票の返送は不要です。

政府統計オンライン調査総合窓口

ログイン ID (半角 6 文字)	123456
パスワード (半角 8 文字)	abcd1234



回答期限：令和 8 年 11 月 17 日 (火)

■ 紙の調査票で回答する場合

- この調査票に直接ご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。

投函期限：令和 8 年 11 月 17 日 (火)

【家族について】

配偶者についてうかがいます。

問 1 令和 8 年 11 月現在、あなたに配偶者はいますか。また、配偶者がいる場合には、同居の有無と生計を共にしているかについても、それぞれ**あてはまる番号 1 つ**に○をつけてください。なお、配偶者には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。(以下の質問についても同様です。)

1 いる	→ 補問 1 - 1 配偶者の出生年月 →	1 昭和			年			月生
		2 平成			年			月生
		補問 1 - 2 配偶者と同居していますか。		1 はい		2 いいえ		
		補問 1 - 3 配偶者と生計を共にしていますか。		1 はい		2 いいえ		
2 いない								

注：「生計を共にする」とは、生計（日常生活を営むための収入と支出）を共有していることです。仕事や学校、療養の関係で別居して、仕送りなどの送金が行われている場合も含まれます。(以下の質問についても同様です。)

問 2 この 1 年間（令和 7 年 11 月～令和 8 年 10 月）に、次の出来事がありましたか。**あてはまる番号すべてに○**をつけてください。なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離別・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含まれます。

1 結婚した	→ 補問 2 - 1 同居を開始した年月 →	1 平成			年			月
2 配偶者と離別した		2 令和			年			月
3 配偶者と死別した								
4 上記 1～3 のようなことはなかった								

お子さんについてうかがいます。

問 3 令和 8 年 11 月現在、あなたにお子さんはいますか。

1 いる	2 いない	→ 問 4 にお進みください
------	-------	----------------

補問 3 - 1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(8 人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

	お子さんの出生年月				同別居	生計	
1	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない
2	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない
3	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない
4	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない
5	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない
6	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない
7	1 平成		年		月生	1 同居	1 共にしている
	2 令和		年		月生	2 別居	2 共にしていない

配偶者・お子さん以外の方についてうかがいます。

問4 令和8年11月現在、配偶者、お子さん以外であなたと同居している親や親族等はいいますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、「同居」には、二世帯住宅、同一敷地内の別棟を含みます。

1 同居している方がいる

2 同居している方はいない → 次頁の補問4-2にお進みください

補問4-1 同居している方の状況について、生計を共にしているか、生計を共にしていないかの別に**1人ずつ**お答えください。

(以下の記入例は、あなたに加え、生計を共にしている「自分の母」と、生計を共にしていない「その他の親族」の2人と同居している場合になります。)

		あなたとの関係						生計		
		自分の父	自分の母	配偶者の父	配偶者の母	その他の親族 (祖父母、兄弟姉妹等)	その他 (親族以外)			
記入例	1人目	1	②	3	4	5	6	⇒	①	2
	2人目	1	2	3	4	⑤	6	⇒	1	②
	1人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	2人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	3人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	4人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	5人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	6人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	7人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	8人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	9人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2
	10人目	1	2	3	4	5	6	⇒	1	2

補問 4 - 2 あなたと同居していない親や親族等のうち、生計を共にしている方はいますか。あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1 同居していないが、生計を共にしている方がいる

2 生計を共にしている方はいない → 問 5 にお進みください

補問 4 - 3 あなたと同居していない親や親族等のうち、生計を共にしている方について、あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

1 自分の父

2 自分の母

3 配偶者の父

4 配偶者の母

5 その他の親族（祖父母、兄弟姉妹等）

6 その他（親族以外）

【住まいについて】

すべての方にうかがいます。

問 5 令和 8 年 11 月現在、あなたがお住まいの住居の種類について、あてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1 持ち家

2 民間賃貸住宅

3 社宅・公務員住宅等の給与住宅

4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅

5 借間・その他

※以下の質問について、配偶者がいる方は配偶者欄もお答えください。

【就業について】

問 6 令和 8 年 11 月現在、あなた（及び配偶者）は、所得を伴う仕事（アルバイト、家族従業員、内職及び休業中の仕事も含みます。）をしていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

仕事の有無	あなた	配偶者
仕事についている（休業中の仕事を含む）	1	1
仕事についていない	2	2

※あなたが「仕事についている」場合、配偶者がいる方で配偶者が「仕事についている」場合は、補問 6 - 1 以降にお答えください。

補問 6 - 1 あなた（及び配偶者）の就業状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

現在の就業状況	あなた	配偶者
主に仕事をしている	1	1
通学のかたわらに仕事をしている	2	2
家事等のかたわらに仕事をしている	3	3
仕事を休んでいる（病気休暇、育児休業等）	4	4

補問 6 - 2 あなた（及び配偶者）は、複数の仕事についていますか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、仕事には休業中の仕事も含みます。

複数の仕事の有無	あなた	配偶者
複数の仕事についている	1	1
ひとつの仕事にのみについている	2	2

あなたが「2」（配偶者がいる方は配偶者も「2」）の場合のみ、7 頁の間 10 にお進みください。

補問 6-3 あなた（及び配偶者）の仕事はどのような形態ですか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。なお、補問 6-2 で「複数の仕事についている」と回答した方は、あてはまる番号 すべて に○をつけて、その中で**主たる仕事（継続期間が長いもの、就業時間が長いもの、収入割合が高いものなど、ご自身が「主たる仕事」とお考えの仕事）**について、該当する番号 1つ を「主たる仕事の形態」に記入してください。（以下の質問についても同様です。）

仕事の形態	あなた	配偶者
正規の職員・従業員	1	1
パート	2	2
アルバイト	3	3
労働者派遣事業所の派遣社員	4	4
契約社員	5	5
嘱託	6	6
その他	7	7
会社・団体等の役員	8	8
自営業主（雇い人あり）	9	9
自営業主（雇い人なし）	10	10
家族従業員（自家営業の手伝い）	11	11
内職	12	12
主たる仕事の形態		

注：「自営業主（雇い人なし）」には、就業先との直接の雇用契約のない単発・短時間業務も含まれます。

※補問 6-2 で「ひとつの仕事にのみについている」と回答した方のうち、あなたの「仕事の形態」が 1～7、配偶者がいる方で配偶者の「仕事の形態」が 1～7 の場合は、補問 6-4 にお答えください。また、補問 6-2 で「複数の仕事についている」と回答した方のうち、あなたの「主たる仕事の形態」が 1～7、配偶者がいる方で配偶者の「主たる仕事の形態」が 1～7 の場合も、補問 6-4 にお答えください。

補問 6-4 あなた（及び配偶者）の勤め先（会社等）の従業者の数（本社・本店や出張所等も含めた企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

なお、補問 6-2 で「複数の仕事についている」と回答した方は、主たる仕事についてお答えください。

勤め先の従業者数	あなた	配偶者
1～4 人	1	1
5～29 人	2	2
30～99 人	3	3
100～299 人	4	4
300～499 人	5	5
500～999 人	6	6
1000～1999 人	7	7
2000～4999 人	8	8
5000 人以上	9	9
官公庁	10	10
不明	11	11

問6で あなた（及び配偶者）が「仕事についている」と回答した方にうかがいます。

問7 あなた（及び配偶者）の職業について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

なお、補問6-2で「複数の仕事についている」と回答した方は、あてはまる番号すべてに○をつけて、その中で主たる仕事について該当する番号 1 つを「主たる職業」に記入してください。

職業	あなた	配偶者
管理的な仕事	1	1
専門的・技術的な仕事	2	2
事務の仕事	3	3
販売の仕事	4	4
サービスの仕事	5	5
保安の仕事	6	6
農林漁業の仕事	7	7
生産工程の仕事	8	8
輸送・機械運転の仕事	9	9
建設・採掘の仕事	10	10
運搬・清掃・包装等の仕事	11	11
その他の仕事	12	12
主たる職業		

問6で あなたが「仕事についている」と回答した方にうかがいます。

問8 あなたの1週間の勤務日数と平均的な1週間の就業時間（残業時間も含まれます。）をお答えください。平均的な1週間の就業時間については、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

なお、補問6-1で「4 仕事を休んでいる」と回答した方は、勤務日数は「0」日、就業時間は「13 就業なし」と記入してください。また、補問6-2で「複数の仕事についている」と回答した方は、それらを合計のうえ記入してください。

<1週間の勤務日数> 週7日のうち 通常 日	<平均的な1週間の就業時間> 1 10 時間未満 2 10～15 時間未満 3 15～20 時間未満 4 20～25 時間未満 5 25～30 時間未満 6 30～35 時間未満 7 35～40 時間未満 8 40～45 時間未満 9 45～50 時間未満 10 50～55 時間未満 11 55～60 時間未満 12 60 時間以上 13 就業なし
--	---

注：1）「1週間の勤務日数」は、1日のうちに2つ以上の仕事に従事した場合でも1日とします。
2）「平均的な1週間の就業時間」は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨てます。

問9 あなたは、現在の働き方などについてどのくらい満足していますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	満足 している	どちらか といえば満足 している	どちらとも いえない	どちらか といえば 不満である	不満である
① 現在の働き方（正規の職員・アルバイト等）	1	2	3	4	5
② 企業等の事業内容	1	2	3	4	5
③ あなたの仕事の内容	1	2	3	4	5
④ 給料	1	2	3	4	5
⑤ 労働時間	1	2	3	4	5
⑥ 休暇の日数・とりやすさ	1	2	3	4	5
⑦ 職場の人間関係	1	2	3	4	5

すべての方にうかがいます。

問10 この1年間（令和7年11月～令和8年10月）のあなた（及び配偶者）の就業状況の変化について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、仕事には休業中の仕事も含まれます。

また、「仕事をはじめた」とは、「職についた」または「起業した」のいずれもあてはまります。

補問6-2で「複数の仕事についている」と回答した方は、主たる仕事（継続期間が長いもの、就業時間が長いもの、収入割合が高いものなど、ご自身が「主たる仕事」とお考えの仕事）についてお答えください。

就業状況の変化		あなた	配偶者
仕事についている	同じ会社・職場で働き続けている	1	1
	通っていた学校を卒業または中退し、新たに仕事をはじめた	2	2
	以前の会社・職場を辞め、新たに仕事をはじめた	3	3
	過去1年間仕事をしていなかったが、新たに仕事をはじめた	4	4
仕事についていない	以前の会社・職場を辞め、現在は通学中または仕事についていない	5	5
	1年前から仕事についていない	6	6

注：1) この1年間に、学校を卒業(または中退)してから初めての就職と転職の両方を経験した方は「通っていた学校を卒業または中退し、新たに仕事をはじめた」になります。

2) 「1年前から仕事についていない」には、1年前は通学中で現在も通学中または仕事についていない場合や、1年前は仕事についてなく現在通学中の場合も含まれます。

問6で あなた（及び配偶者）が「仕事についていない」と回答した方にうかがいます。

問 11 令和8年11月現在のあなた（及び配偶者）の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

現在の状況	あなた	配偶者
仕事を探している	1	1
通学している	2	2
家事に従事している	3	3
その他	4	4

補問 11-1 あなたの状況について、あてはまる番号すべてに○をつけて、その中で主な状況に該当する番号1つを「主な状況の番号」に記入してください。

- 1 公共職業能力開発施設等で訓練中である
(公共職業能力開発施設等には、海上技術学校、准看護師学校養成所等も含みます)
- 2 進学準備中である(予備校等に在学している場合も含みます)
- 3 就職準備中である
- 4 起業準備中である
- 5 妊娠中または育児をしている
- 6 病気やけがの療養中である
- 7 家族や親等の看護や介護をしている
- 8 進学や就業をする意欲がない、自信がない
- 9 その他

主な状況の番号

【日常生活について】

すべての方にうかがいます。

問 12 ここ最近のあなたの体の健康状態について、全般的にみて、おおむねどのような状態ですか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------|
| 1 | とても良い |
| 2 | まあ良い |
| 3 | 普通 |
| 4 | あまり良くない |
| 5 | 良くない |

問 13 この 1 年間（令和 7 年 11 月～令和 8 年 10 月）に、あなたは仕事やスキルアップのため自ら講座の受講や学習活動をしましたか。**あてはまる番号 1 つに○をつけてください。**

- | | | |
|---|--------------------|-----------------|
| 1 | 自ら講座の受講や学習活動をした | → 問 14 にお進みください |
| 2 | 自ら講座の受講や学習活動はしていない | |

補問 13-1 あなたが自ら行った活動について、**あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 各種学校（専修学校、高等専門学校、大学等）の講座の受講 |
| 2 | 民間教育訓練機関（民間企業、公益法人、各種団体）の講習会、セミナーへの参加 |
| 3 | 公共職業能力開発施設の講座の受講 |
| 4 | 社内の自主的な勉強会、研究会への参加 |
| 5 | 社外の勉強会、研究会への参加 |
| 6 | 通信教育の受講 |
| 7 | ラジオ、テレビ、専門書等による自学、自習 |
| 8 | e ラーニング（インターネット）による学習 |
| 9 | その他 |

問 14 令和 8 年 11 月現在のあなた（及び配偶者）の最終学歴について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

なお、「最終学歴」とは、「最後に卒業（修了）した学校」とします。

最終学歴	あなた	配偶者
中学校	1	1
高等学校（中等教育学校後期課程も含みます）	2	2
特別支援学校	3	3
短期大学	4	4
高等専門学校（5 年制）	5	5
専修学校・各種学校	6	6
大学	7	7
大学院	8	8
その他（外国の学校等）	9	9

注：“●●専門学校”（高等専門学校（5 年制）は除きます）は、多くの場合「専修学校・各種学校」となります。

【経済状況について】

すべての方にうかがいます。

- 問 15** あなた（及び配偶者）の令和7年1年間に得た所得について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。 **所得がある場合は、それぞれの金額（税込み）**を記入してください。また、万円未満は四捨五入してください。1億円以上は「9999」と記入してください。
- なお、**複数の所得がある場合は、それらを合算のうえ**お答えください。

所得の種類	あなた	配偶者								
雇用者所得	1 所得なし	1 所得なし								
	2 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> 万円 千 百 十 一					2 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> 万円 千 百 十 一				
事業所得	3 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> 万円 千 百 十 一					3 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> 万円 千 百 十 一				
その他の所得	4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> 万円 千 百 十 一					4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> 万円 千 百 十 一				

注：1) 「雇用者所得」には、源泉徴収票などをもとに、税込みの金額（源泉徴収票の「支払金額」）を記入してください。

2) 「事業所得」には、事業による収入から、必要経費を差し引いた金額を記入してください。

3) 「その他の所得」には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

- 補問 15-1** あなた（及び配偶者）が令和7年1年間に得た所得のうち、「その他の所得」にはどのようなものがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

その他の所得の種類	あなた	配偶者
財産所得（利子・配当金も含みます）	1	1
公的給付金（失業給付、児童手当等）	2	2
仕送り・贈与等	3	3
その他	4	4

問 16 令和 8 年 10 月の 1 か月間に、あなた（生計を共にしている配偶者がいる場合には、あなた及び配偶者）が支出した額について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

なお、他に生計を共にしている方と区別することが困難な場合には、**共有している生計全体の支出した額**を記入してください。万円未満は四捨五入してください。

1	支出なし	6	20～25 万円未満
2	5 万円未満	7	25～30 万円未満
3	5～10 万円未満	8	30～35 万円未満
4	10～15 万円未満	9	35～40 万円未満
5	15～20 万円未満	10	40 万円以上

注：「支出」には、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含みます。税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借入金（住宅ローン、奨学金等）の返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は除きます。

問 17 令和 8 年 10 月末日現在、あなた（及び配偶者）の金融資産額について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。万円未満は四捨五入してください。

金融資産額	あなた	配偶者
金融資産なし	1	1
100 万円未満	2	2
100～500 万円未満	3	3
500～1000 万円未満	4	4
1000～2000 万円未満	5	5
2000～3000 万円未満	6	6
3000 万円以上	7	7

注：「金融資産」には、現金、預貯金の他に株式、債券、投資信託、生命保険、商品券や小切手も含みます。土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

補問 17-1 あなた（及び配偶者）は、どのような金融資産をもっていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

金融資産の種類	あなた	配偶者
現金や金融機関への預貯金	1	1
生命保険料等にこれまで払い込んだ保険料（掛け捨て型は除きます）	2	2
株式・債券等（投資信託も含みます）	3	3
その他（仮想通貨、財形貯蓄、社内預金等）	4	4

問 18 令和 8 年 10 月末日現在、あなた（及び配偶者）は、預貯金等の金融資産以外に、どのような資産をもっていますか。**あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

なお、事業のための資産は除きます。

金融資産以外の資産の種類	あなた	配偶者
金融資産以外の資産なし	1	1
土地	2	2
家屋・一戸建て等	3	3
マンション等（住戸）	4	4
車・船	5	5
その他（貴金属、著作権、商標権等）	6	6

問 19 令和 8 年 10 月末日現在、あなた（及び配偶者）に借入金がありますか。**あてはまる番号 1 つに○をつけてください。**万円未満は四捨五入してください。

借入金額	あなた	配偶者
借入金なし	1	1
100 万円未満	2	2
100～500 万円未満	3	3
500～1000 万円未満	4	4
1000～2000 万円未満	5	5
2000～3000 万円未満	6	6
3000 万円以上	7	7

注：「借入金」とは、土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金（奨学金）等の生活のために借り入れたお金のことであり、クレジットカードで1回払い、ボーナス一括払いをした未払残高は除きます。

補問 19-1 あなた（及び配偶者）の借入金の目的について、**あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

借入金の目的	あなた	配偶者
土地・家屋・マンションの取得や増改築資金	1	1
車・船の購入資金	2	2
家電・家具・ピアノ等の購入資金	3	3
こどもの教育資金（教育ローン等）	4	4
自分の教育資金（奨学金、教育ローン等）	5	5
旅行やレジャーのための資金	6	6
病気やけが等の治療費	7	7
その他	8	8

問 20 現在のあなたの暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|----------|
| 1 | 大変苦しい |
| 2 | やや苦しい |
| 3 | 普通 |
| 4 | ややゆとりがある |
| 5 | 大変ゆとりがある |

質問は以上で終了です。どうもありがとうございました。

最後にもう一度、記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、お早めにポストに投函してください。

今後ともご協力いただきますようお願いします。

SAMPLE